

第1回会計事務適正化推進本部会議（概要）

と き 平成19年4月2日（月） 午前10時40分～

ところ 知事公館 大サロン

議 題 直ちに取り組むべき再発防止策の推進について

構 成 本 部 長： 知 事

副本部長： 3副知事

本 部 員： 各部局長

【知事からの訓示】

新年度を迎えた今日、会計事務適正化推進本部を立ち上げることにした。

これは、昨年末からの裏金問題に関して、再発防止の徹底を図るためにつくった組織である。皆さんには最大限の努力をお願いしたい。

再発防止に関して、これまで申し上げてきたことの一つが、職員一人ひとりが自らの問題として受け止め、意識とシステムの両面から抜本的に、そして、スピード感を持って改革を進めようということである。

そして、もう一つ、出先機関では、それぞれ府政の再生、活性化に向け、職員は府民との間に立って、頑張ってくれている。

そのため、現場に配慮した改革を進めていかなければならない。

また、平成9年度の際の事後対応が大変甘かったため、今回の一連の事態に繋がったことも、皆さんは認識していると思う。

勝負はこれからである。府民からの信頼回復が一日も早く達成されるよう、この推進本部を最大限活用し、職員一人ひとりが改革マインド持ち、スピード感をもって、取り組みを進めなければならない。

この推進本部が担っている役割は大きく二つある。

一つは、当面の取り組むべき方策について、庁内の隅々にまで浸透を図るとともに、進行管理を行っていくこと。もう一つは、効果の検証を随時行い、新しい課題を抽出していくことである。そして、課題への対策をまた、庁内に浸透させていく。その循環を作らなければならない。

そして、もう一つ大切なことは、皆さんに、強いリーダーシップを発揮していただくことである。

一人ひとりが自分自身の問題として捉えるということが重要であるが、それは、皆さん自身がそのような環境をつくって行けるかということにもかかっている。

常々申し上げていることであるが、府政は府民の信頼の上にしか成り立ち得ない。

新年度を迎えた今日、今一度、そのことを再認識し、自らを厳しく律し、高い倫理観を持ち、公務員の原点に立ち戻って、組織のリーダーとしての役割をしっかりと確立してもらいたい。これはもちろん、私も含めて必要なことである。

今日、新規採用職員の任命式が行われた際に、私はいの一番に「公僕たれ」という言葉を申し上げた。「府民の目線」で考え、府民のために誠心誠意尽くす。そして、府民の信頼を勝ち取っていく。これが公務員の原点であり、喜びであり、生きがいである。

一度失った信頼の回復は容易ではないが、府庁に働く職員みんなが、自信と誇りを取り戻すことができるよう、全庁一丸となって改革に取り組んでいただきたい。よろしく願います。

【総務部長】

資料に基づき、「直ちに取り組むべき再発防止策について」説明